



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月9日

上場会社名 マックスバリュ北海道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7465 URL <http://www.mv-hokkaido.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出戸 信成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石岡 忠雄 (TEL) (011) 631-5192
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	71,859	7.9	832	75.1	898	73.4	282	44.0
26年2月期第3四半期	66,591	—	475	—	518	—	195	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	41.24	41.14
26年2月期第3四半期	28.66	28.61

(注) 平成25年2月期は、決算期変更により13ヵ月決算となっております。このため、26年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	27,763	7,391	26.5
26年2月期	25,152	7,136	28.3

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 7,364百万円 26年2月期 7,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年2月期	—	0.00	—		
27年2月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	1.7	1,400	6.7	1,400	2.1	400	5.7	58.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期3Q	6,941,350株	26年2月期	6,941,350株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	100,476株	26年2月期	104,482株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期3Q	6,838,974株	26年2月期3Q	6,836,044株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
第3四半期累計期間	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済動向は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和政策の効果により、企業業績の向上や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかながら回復の動きがみられましたが、円安による原材料や燃料費、電気料金の値上がり等もあり先行きはなお不透明な状況にあります。当社の属する北海道のスーパーマーケット業界では、お客さまの生活防衛意識は依然高く、節約・低価格志向が継続するとともに、業種・業態を越えた競争はより一層激しさを増し、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社は「基本の徹底と変化への対応」のスローガンを掲げ変化するお客さまニーズに対応した品揃え、売場づくり、サービスの提供を行い商圏シェアの拡大に取り組んでまいりました。

商品・営業面では、「簡単・便利・すぐ食べられる」をコンセプトにデリカゾーンを継続して強化いたしました。具体的には、揚げ物、弁当、寿司等のお惣菜や冷凍食品の拡販と、スイーツ、デザート、ベーカリー等の品揃えの拡充を行いました。また、お客さまの節約志向にお応えすべく購買頻度の高い商品の価格訴求を行ってまいりました。具体的には、誕生から40周年を迎えるイオンのブランド「トップバリュ」商品や毎週恒例曜日市の販売強化に取り組んでまいりました。さらに毎週、週間単位で設定し展開している「今週のおすすめ品」の販売強化や圧倒的低価格でご提供する販促企画「安い値!」商品の展開強化を行う等、買上げ点数の拡大に努めてまいりました。

また、便利でおトクなイオンの電子マネー「WAON」の会員さま拡大を継続実施しており、この取り組みによって来店客数の増大を図ることができました。特に毎月5日、15日、25日の「お客さまわくわくデー」は多くのお客さまにご支持をいただき、好調なセールスのひとつとなっております。

既存店舗の活性化では、第2四半期累計期間の9店舗に加え9月「マックスバリュ菊水店(札幌市)」、10月「マックスバリュ深川店(深川市)」、「ザ・ビッグ岩見沢店(岩見沢市)」の計3店舗の改装を行い、店舗の特性に応じた品揃えや売場づくりの見直しを行いました。これにより当第3四半期累計期間の活性化店舗数は12店舗となり業績改善に結びついております。

コンプライアンスの取り組みでは、食品表示の厳格化、衛生管理、労務管理、防災管理に係る内容を重点実施項目として、毎月の店長会議や、商品部員会議、売場担当者会議を通じての教育機会を増やすことで個人のスキルアップと組織体制の基盤固めに努めてまいりました。

これらの取り組みにより、当第3四半期累計期間の売上高は前年同四半期比108.0%、客数は同104.2%、客単価は同103.7%となり、既存店売上高は2010年9月から51ヵ月連続で前年同月を上回る結果となりました。また、売上高に対する経費率は前年同四半期に対して1.0ポイントの改善となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業収益718億59百万円(前年同四半期比107.9%)、営業利益8億32百万円(前年同四半期比175.1%)、経常利益8億98百万円(前年同四半期比173.4%)、四半期純利益2億82百万円(前年同四半期比144.0%)となり、第3四半期累計期間における営業収益は4期連続増収、また営業利益、経常利益はともに5期連続増益、いずれも過去最高を更新することができました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて34.2%増加し、99億円となりました。これは、現金及び預金が13億34百万円、未収入金が9億23百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ0.5%増加し、178億62百万円となりました。これは、建物(純額)が2億57百万円減少したものの、土地が3億39百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ10.4%増加し、277億63百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ26.8%増加し、172億31百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が31億66百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ29.1%減少し、31億39百万円となりました。これは、長期借入金が12億65百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ13.1%増加し、203億71百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ3.6%増加し、73億91百万円となりました。これは、利益剰余金が2億12百万円増加したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年2月期の業績予想につきましては、2014年4月8日に公表しております業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2014年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2014年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	621,116	1,955,302
売掛金	250,063	309,323
商品	2,170,336	2,315,694
貯蔵品	24,034	24,681
繰延税金資産	234,328	319,522
未収入金	3,374,531	4,298,413
その他	732,627	704,472
貸倒引当金	△27,039	△26,699
流動資産合計	7,379,999	9,900,711
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,795,717	4,537,874
土地	4,995,333	5,334,550
その他(純額)	1,159,698	1,196,866
有形固定資産合計	10,950,748	11,069,291
無形固定資産	23,334	24,970
投資その他の資産		
投資有価証券	183,468	217,819
関係会社株式	255,300	255,300
繰延税金資産	1,444,370	1,506,001
敷金	3,073,451	3,066,419
建設協力金	1,520,003	1,310,758
その他	473,966	548,361
貸倒引当金	△151,838	△136,103
投資その他の資産合計	6,798,722	6,768,557
固定資産合計	17,772,806	17,862,820
資産合計	25,152,805	27,763,531
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,107,633	10,274,282
1年内返済予定の長期借入金	2,139,791	1,718,608
未払法人税等	400,161	249,461
引当金	41,622	35,014
設備関係支払手形	390,648	194,417
その他	3,507,457	4,759,909
流動負債合計	13,587,314	17,231,693
固定負債		
長期借入金	3,168,676	1,902,820
資産除去債務	499,024	504,813
その他	761,546	732,224
固定負債合計	4,429,247	3,139,857
負債合計	18,016,561	20,371,550

(単位：千円)

	前事業年度 (2014年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2014年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,445	1,176,445
資本剰余金	1,206,839	1,206,839
利益剰余金	4,898,391	5,111,101
自己株式	△180,087	△173,221
株主資本合計	7,101,587	7,321,164
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,812	42,997
評価・換算差額等合計	14,812	42,997
新株予約権	19,843	27,820
純資産合計	7,136,243	7,391,981
負債純資産合計	25,152,805	27,763,531

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年11月30日)
売上高	65,545,643	70,803,716
売上原価	51,220,121	55,635,982
売上総利益	14,325,522	15,167,734
その他の営業収入	1,045,511	1,055,805
営業総利益	15,371,033	16,223,539
販売費及び一般管理費	14,895,810	15,391,500
営業利益	475,223	832,039
営業外収益		
受取利息	20,954	18,653
貸倒引当金戻入額	17,600	16,444
リサイクル材売却収入	17,369	22,379
その他	32,310	40,290
営業外収益合計	88,234	97,767
営業外費用		
支払利息	41,897	25,305
その他	3,404	6,252
営業外費用合計	45,302	31,558
経常利益	518,155	898,248
特別損失		
減損損失	145,561	274,543
その他	6,275	—
特別損失合計	151,837	274,543
税引前四半期純利益	366,318	623,705
法人税、住民税及び事業税	338,692	494,630
法人税等調整額	△168,300	△152,991
法人税等合計	170,392	341,638
四半期純利益	195,925	282,066

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。